

企業の森林で「ドコモ桜番所の森」イベント

5月19日(土曜日)、三重県いなべ市に所在する悟入谷国有林で「ドコモ桜番所の森」整備活動が開催されました。

当該イベントは、NTT ドコモ東海支社が社員とその家族を中心とする参加者を募集し行う森林整備を目的とした体験型のイベントです。

今年は、春の開催となり、風の香りもかぐわしい新緑の中、天候にも恵まれ、予定していた間伐体験、間伐材を使用したベンチ作成や林内歩道の新設、記念植樹を総勢50名で実施しました。

「ドコモ桜番所の森」は企業の森林として契約を結んだ箇所で、イベントは、平成14年から森林整備活動を目的に継続して開催され、今年で16回目となります。

参加者の方々への技術指導は、グリーンボランティア「森林づくり三重」の皆さんが担当し、手本を示しながら熱のこもった指導が行われ、参加者の方々は、チェーンソーを使用した間伐、鋤や掛合を使用して林内の歩道作りなど、体を動かし汗をかきながら作業に取り組んでいました。

また、参加した子どもたちは、慣れない手つきながら、記念植樹のための穴掘りやシカ被害防止のネット設置に取り組んでいました。

三重森林管理署からも悟入谷国有林を管轄する首席森林官と総括森林整備官の2名がイベントに参加しました。



参加者の集合写真



歩道作り



記念植樹



シカ被害防止ネット設置